

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 1 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 9月1日 午前10時～	都市計画	JR八木駅東口周辺整備について	JR八木駅東口周辺の国道9号および府道は、歩道が狭く車両と歩行者が近接するなど危険な状況である。市も「道路構造令に基づいて道路改良が必要」との見解を示し、安全確保に向けて継続的な要望を行っているとのことだが、以下について質問する。	市長 担当部長
			①今年度、JR八木駅東口周辺整備促進協議会との意見交換を行われたのか伺う。	
			②京都国道事務所からの要望に対する回答や現在の進捗状況を伺う。	
			③市として現状を認識されているのなら、できる限りの安全対策から進めていく必要があると考えるが、見解を伺う。	
	農業	八木バイオエコロジーセンターについて	当該施設は、地域の畜産農家や酪農家をはじめ、耕種農家、食品関連事業者など、本市の多くの事業者が関わりながら運営されており、地域農業や地産地消を支える重要な施設である。現在、当該施設は、BIMA消化槽1号機が停止し、2号機のみ稼働となっていると聞くと、施設が本来の能力を発揮できない状況が続けば、施設を利用する多くの関係者への影響も大きくなる。そこで以下について質問する。	
			①現在、本施設のBIMA消化槽1号機は停止し、施設が全稼働できていない状態である。1号機について今後、修繕する考えはあるのか伺う。また、八木バイオエコロジーセンターの高機能強化事業を含め、施設の維持管理・運営に関して、今後の基本方針について伺う。	
			②本施設に関わる事業者などは、本市の地産地消にも大きく貢献している。例えば、地域の酪農家や農業者が生産した農産物等は、市内の小・中学校の学校給食にも供給されており、地域内で生産したものを地域で消費するという本市が進める地産地消の取り組みにもつながっている。また、本施設に関わる事業者の商品は、ふるさと納税の返礼品としても活用されており、返礼品や寄附額の面から見ても、本市のふるさと納税に大きく貢献していると考え。指定管理者や関係事業者ともしっかりと対話すべきと考えるが、市長の見解を伺う。	
日本共産党議員団 佐々江 和浩 (一問一答) 質問予定日 9月1日 午前11時～	公共施設	施設の有効活用について	③6月議会で可決した経済産業省の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」について実施時期や具体的な内容について伺う。	
			市役所4号庁舎、氷室の郷、八木スポーツフォアオール、また、今後、上下水道部の移転によりスペースが空く八木支所2階など、既存施設には有効活用できる可能性のあるスペースがある。限られた公共施設を有効に活用する観点から、これらの施設について、今後どのような運用を考えているのか、市長の所見を伺う。	
	広報・広聴	「Oneなんたんらぼ」の取組について	①これまでの実施回数は。	市長
			②実施されて感じられた「成果点」「今後に向けた改善点」についてはどのようなものか。	
			③実施要綱によると、懇談テーマとしては「要望を目的としない」「市としての回答を求めない」「専門的な部分に立ち入らない」ものとする規定されている。そうすると、市民側からすると懇談テーマ設定が難しくなるのではないかと。	
		広報・広聴活動の現状と今後の展望について	①「南丹市政へのご意見箱」への『提出意見数』『回答の掲載数』が減少しているように感じる。近年のそれらの数値の推移とその要因について伺う。	市長 担当部長
			②「市民参加と協働の推進に関する条例」制定に向けて設置された検討委員会において『行政においては市民にわかりやすい説明や情報の提供がなく、市民目線に立った施策展開がなされてない、そして市民が意見を提出する機会を行政が与えていないなど市民参加・協働意識を考えていくうえでその透明性や説明責任が十分に果たされていない現状があります。』との指摘がされていた。市民参加条例制定による前進面と課題点についての認識を伺う。	
			③市民との情報共有を積極的に行うことは市民の積極的な行政参加に繋がる。北海道二セコ町の「予算説明書」にならった取り組みは条例の精神を具現化するものかと考えるが、市長の見解を伺う。	
			④「予算額が大きい事業」「新規に取り組む事業」「市民生活に密接にかかわる事業」については、市民の関心が高く、説明書化の効果が高い領域。まずは市HPを活用した情報共有方策の推進が望まれると考えるが、市長の見解を伺う。	
		市民参加型予算制度について	「市民参加型予算制度」は、住民が予算編成の一部に直接参加し、公共の優先順位を住民自身が決める制度。かつて旧八木町には住民同士が公共の課題を議論し合う「電子会議室」という先進の取組がなされていた。参加型予算制度は、その仕組みをより制度的に成熟させた後継モデルと言えるものであり市民参加条例の精神そのものと言える。同制度についての見解を伺う。	
	平和行政	南丹市平和都市宣言について	①この宣言の核心部分である「非核三原則の遵守を強く求める」という文言をどのように受け止めているか。また、宣言が市民にもたらす価値をどのように捉えているのか、市長の見解を伺う。	
			②首相は「非核三原則を政策上の方針として堅持する」と答弁している一方で、政権内には見直し論も報じられている。こうした国政の揺らぎを踏まえ、市として平和行政をどのように進めるのか、見解を伺う。	
			③宣言の精神を市民に広げるため、市としてどのような施策を検討しているか。広報・学校教育・社会教育・地域イベントなど、具体的な取り組みの方向性を伺う。	

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 2 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
公明党 渡辺 典子 (一問一答) 質問予定日 9月1日 午後1時～	福祉	南丹市こども計画の活用について	令和7年に策定された「南丹市こども計画」は、本編の他、読みやすい「概要版」と子どもでも理解できる内容に編集された「こども版」が存在する。本計画冊子の今後の活用計画と期待される効果を問う。	市 長 教 育 長
			①こども計画「概要版」および「こども版」の活用実績と今後の活用計画は。	
			②「こども版」についても「本編」と同じく具体的な相談窓口や居場所等の記載が可能か。	
			③ 本計画の柱であるこどもの貧困対策について、「こども計画」を見た市民(子どもを含む)から窓口でSOSを受けた場合、どのように対応するのか。	
	福祉	ミライロIDの普及・啓発について	令和元年に運用が開始された障害者手帳アプリのミライロIDは、障がいのある方の利便性向上に役立つものである。アプリ運用の現状と普及啓発やサービスの拡充について問う。	市 長 担 当 部 長
			①現在、本市でアプリの提示により受けられるサービスは。	
			②本市におけるアプリの普及方法と、サービス拡充の計画はあるか。	
			③障がい児・者の社会参加において有効と思われるアプリの登録に必要な障害者手帳の要件として顔写真が貼付された手帳であることが必須であるが、現在、精神障害者福祉手帳に顔写真の貼付自体は任意となっている。アプリ利用の啓発を踏まえ、今後の障害者手帳申請時または更新時に説明は可能か。	
	産業	南丹市キャラクターの整備について	本市のキャラクター「さくらちゃん」をはじめとした、キャラクターのデザインは印刷物等の媒体制作を請け負った業者によりリメイクされ、統一されていない。一貫したキャラクターデザインの整備の必要性和今後の活用について問う。	
			①「さくらちゃん」が本市のキャラクターになった時期と、現在の肩書きは。	
			②現在、「さくらちゃん」他、キャラクターのグッズは販売されているか。また市内事業者が申請すれば「さくらちゃん」を使用した商品を製造・販売することは可能か。	
			③「さくらちゃん」のデザイン改変は認められているか、市の見解は。	
つなぐ 小中 昭 (一問一答) 質問予定日 9月1日 午後2時～	漁業	内水面漁業振興に向け地域おこし協力隊導入を	内水面漁業組合は単なる漁業者の組織ではなく、魚の増殖、漁場管理、遊漁、自然との触れ合い、地域振興に関わる主体として位置付けられている。また、美山地域にとって、美山川は単なる河川にとどまらず、アユやアマゴなどの水産資源を育む場であると同時に釣り人を呼び込み、観光や宿泊、飲食、地域経済につなげることのできる、重要かつ貴重な地域資源である。しかし、組合員の高齢化、釣り人の減少、遊漁券収入の減少、河川環境の悪化、更には漁協を支える担い手不足など、内水面漁業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。そこで、現在の地域おこし協力隊制度を活用し、「美山川・内水面漁業振興」を活動テーマとする地域おこし協力隊を配置することで課題解決につながると考えるが、市長の所見を伺う。	市 長

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 3 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
チェンジ南丹 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 9月1日 午後3時～	行政	「稼ぐ南丹」と市内発注について	市長が掲げる「稼ぐ」まちづくりの実現には、市内事業者の受注機会を増やし、地域に仕事と所得を生み出すことが重要と考え、以下に伺う。	市 長 担 当 部 長
			①元請けに加え、下請けや資材調達等も含めた市内発注率の数値目標を設定する考えはないか。	
			②適正な取引環境の確保と市内事業者の育成を進めるため、公契約条例及び小規模事業者振興条例を制定する考えはないか。	
			③総合評価方式や工事成績評定を活用し、市内事業者の技術力向上と受注機会の拡大につなげる考えはないか。	
	教育	「こどもありき」の教育行政について	本市が進める「こどもありきの教育」について、その理念の共有と今後の教育行政のあり方について以下に伺う。	市 長 教 育 長
			①新たな市政のもと、市長が目指す教育政策と教育長が進める教育行政について、理念や方向性は十分に共有されているか。また、現在の教育行政の評価は。	
			②「こどもありきの教育」を進める中で、現在の教育行政は、市民や保護者から十分な信頼を得られていると認識しているか。	
	公園整備	すば一く園部の多目的活用について	すば一く園部は屋根付きのゲートボール場として整備されているが、利用状況や市民ニーズの変化を踏まえ、既存施設をより幅広く活用する視点が必要と考え、以下に伺う。	市 長 担 当 部 長
			①現在の利用日数、利用者数など、施設の利用状況は。	
			②ゲートボール利用を維持しながら、人工芝化などにより、隣接する園部公園との一体的な利用も含め、子どもから高齢者まで利用できる全天候型の多目的スペースとして再整備する考えはないか。	
	防災	消防団活動のデジタル化について	消防団活動では、出動連絡や参集状況の把握、活動報告、各種連絡など、団員のみならず担当職員にも事務負担が生じている。活動の円滑化と団員・職員双方の負担軽減を図るため、消防団アプリ等のデジタル技術を導入する考えはないか。	
堤 博明 (一問一答) 質問予定日 9月1日 午後4時～	地域振興	小学校跡施設の今後の活用方針について	市長は選挙時に小学校跡施設の方針転換を訴えられていたが、どのように方針転換する考えか伺う。	市 長
		摩気小学校跡施設の今後の活用について	①地区計画について	
			②今後の活用に向けて市長の考えを伺う。	
	危機管理	災害対応について	①令和8年熊本地震での支援について、本市として関西広域連合と連携した被災地支援の現状と今後について伺う。	市 長 担 当 部 長
			②京都府内での災害時におけるカウンターパートの状況について伺う。	
			③本市における指定避難所の環境整備について伺う。	
			④ペット同室避難についての考え及び方向性を伺う。	
	農業振興	米価下落による現状について	①現在の米価の動きが、今後の生産力低下や供給不安につながる可能性について所見を伺う。	
			②市内農家の経営状況の実態を把握されているか。また、今後の相談体制の強化や省力化支援の考えを伺う。	

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 4 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 9月2日 午前10時～	地域振興	地域活性化センターについて	南丹市小学校跡施設利活用に関するサウンディング型市場調査が令和7年度に実施された。その結果を踏まえ、以下のとおり伺う。	市長 担当部長
			①プロポーザルによる事業者の募集を実施せずに、再度地域団体での利用を進めていると聞いている。経緯と小学校跡地に対する市長の考えを伺う。	
			②サウンディング調査結果には、「建物の老朽化」との文言もあるように改修が必要となることが多いと思うが、改修工事は市がどこまで負担するのか。また、LED化の工事も必要になってくると考えるが、これは市が行うのか伺う。	
			③新庄地域においては、北地区自治振興会館の機能を新庄地域活性化センターに移したいと、以前北区長会より申し入れがされている。この問題については、どのようになっていくのか市長の見解を伺う。	
		関係人口を増やすための施策について	今年6月12日に変更が閣議決定された「首都直下地震緊急対策推進基本計画」において、国は「二地域・特定居住促進計画」を盛り込んで、広域的避難を行う際の避難先の確保につなげるために二地域居住を推進するとしている。本市が、首都圏に集中する人口の受け入れ先となることについて見解を伺う。	
		南丹市というブランドの向上について	ふるさと納税の納税額を増やすため、また関係人口を増やすためには本市の知名度を上げる必要がある。また、知名度を上げるだけでなくブランドとして価値を高めていく必要がある。情報発信が十分でないなど以前から議論されてきた課題である。市長は「南丹市には大きなポテンシャルがある」と常から発言されている。そのポテンシャルを具体的に、また魅力的に発信することが重要と考えるが、見解を伺う。	
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 9月2日 午前11時～	農業	米価下落による影響・対応について	①昨年度はコメ価格高騰が全国的に大きな話題となったが、本年度は大幅な米価の下落予想が報道されている。米は本市農家の主力作物でもあり、農業経営に大きな影響があると考えるが、市長の見解について伺う。	市長 担当部長
			②本年、著しい米価の下落が発生し、継続した場合、本市の耕作者及び耕作面積の推移は今後どのように予想されるか。また、それに対する市政への影響について伺う。	
			③米価の下落が予想される中、地域の農業を守るためには、色々な対応が必要と考えるが、市長の思いを伺う。	
	過疎対策	過疎対策について	①今後、人口減少により行政区の維持が困難になる地域が発生してくると考えるが、本市の認識を伺う。	
			②人口減少は本市の市政運営にも大きく影響してくると考える。市長の見解について伺う。	
			③市長が考える過疎対策・人口減少対策について伺う。	
	災害対策	災害対策について	① ハザードマップでは、本市の多くの場所が危険地帯となっている。大規模災害に備えて、少しずつでも計画的に整備を行うことが、市民の生命・財産を守ることに繋がると考える。本市の見解を伺う。	
			②市民の生命・財産を守るためには、今後、防災対策の更なる強化が必要と考えるが、市長の見解を伺う。	

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 5 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 9月2日 午後1時～	新幹線	北陸新幹線延伸計画	8月4日「Oneなんたんらぼ」で市長は「北陸新幹線(美山ルート)延伸に反対する美山住民の会」と懇談された。	市 長 担当部長
			①トンネル工事による河川、地下水の水位への懸念が示されました。河内谷浄水場への影響も含めて、本市の認識をお聞きする。	
			②延伸工事による水源や自然環境への影響に関して、本市独自調査を行うことが要望されました。所見をお聞きする。	
			③ヒ素などの有害な重金属を含む残土の取り扱いについて、搬出先や受け入れ基準、届出のルールなど本市の規定を示した条例とその内容についてお聞きする。	
			④この際、明確に現計画へ反対の意思表示を求める。	
	教育	学校体育館のクーラー設置	学校体育館へのクーラー設置計画についてお聞きする。	教 育 長 担当部長
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 9月2日 午後2時～	防災	避難所施設の環境整備	熊本では酷暑の中で被災住民の避難所における施設環境が問題となっている。日吉町、美山町内では、避難所として廃校になった学校跡地が指定されている。これらの施設での空調に関して、現状と今後の対策についてお聞きする。	市 長 担当部長
		防災対策の強化	防災対策は一自治体の手に余るものがある。より一層の府、国へ資金を含めた対策強化が必要ではないか、所見をお聞きする。	
	防災	受援計画の策定状況と実効性について	大規模災害では、避難所運営、物資供給、罹災証明などの業務が急増し、被災自治体だけで対応することは困難になるため、平時から受援体制を整備することが求められている。	
			①本市では他の自治体等からの人的支援を受け入れるための受援計画を策定しているか。策定年月と直近の見直し時期、計画を所管する部局は。	
	福祉・教育	医療的ケア児支援法改正に伴う地域支援体制	②計画は防災担当課だけで作成したのではなく、福祉、税務、建設、環境、子育てなど、災害時に応援を必要とする各部局が参加して作成したものになっているか。	市 長 担当部長
			③令和8年熊本地震を受け、本市の受援計画を改めて点検する考えはあるか。	
	福祉・教育	医療的ケア児支援法改正に伴う地域支援体制	令和8年7月24日、与野党全会一致により「医療的ケア児等及び重症心身障害並びにそれらの家族に対する支援に関する法律」の改正法の成立により、支援対象が「18歳以上の医療的ケア者」や「重症心身障害児・者」へと拡大され、令和9年4月の施行に向けた体制整備がスタートした。	市 長 教 育 長 担当部長
			①本市において、令和9年の改正法施行を見据え、都道府県が設置する医療的ケア児等支援センターや近隣市町、関係機関との連携を強化し、本市における支援の受け皿拡充と地域格差の解消を図るべきと考えるが、市長の見解を伺う。	
			②これまで医療的ケア児とその家族は、高校卒業や18歳という年齢を境に利用できるサービスが激減し、社会から孤立してしまう、いわゆる「18歳の壁」に直面してきた。この課題に対し改正法では、18歳以降においても切れ目のない医療や就労支援のみならず、「住居の確保」や「生涯学習の推進」に至るまで、当事者の豊かな地域生活を支える施策が新設された。そこで、本市においても18歳以降を見据えた相談支援や就労・日中活動の場の確保、移行期医療の円滑化、住居や生涯学習の機会確保など一体的に推進し、「18歳の壁」を解消する体制を整えるべきと考えるが、見解を伺う。	
			③改正法における最も重要な柱の一つが、ケアを担う「家族への支援充実」である。「全国医療的ケア児者支援協議会」の最新調査によれば、母親の6割が一日10時間以上、長ければ24時間もの時間を医療的ケアや介護に費やしており、慢性的な睡眠不足と心身の疲弊が限界に達している。ご家族は当事者を支える大切な「ケアラー」であり、ご家族の崩壊を防ぐ施策の充実是最優先課題である。本市においても、医療的ケア児・者を家族で支える在宅実体や過酷なケア状況を詳細に把握し、レスパイト枠の拡充や夜間ケアを支える訪問看護・介護体制の整備、きょうだい支援など、「ケアラー支援」の視点に立った施策を強化すべきと考えるが、見解を伺う。	

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 6 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
チェンジ南丹 西田 香代子 (一問一答) 質問予定日 9月2日 午後3時～	教育・児童福祉	放課後児童クラブ「園部こすもす」の施設整備	①本市で唯一、校内の空き教室等を活用して運営している園部第二小学校の児童クラブ「園部こすもす」の現在の施設環境は、他の児童クラブと比べて大きな差があり、とても十分とはいえない。独立した施設整備の考えはないか、市長に見解を問う。	市 長 教 育 長
			②次年度、民間移行へ向け準備を進められているようだが、現在の施設管理状況において、どのような課題があると認識されているか。	
			③学校現場と児童クラブの明確な管理責任の区分が必要と考えるが、認識を問う。	
	空き家対策	「定住」から「関係人口」へ、「官民連携」	国の関係人口施策を、市はどう認識し、どう取り込むのか。	市 長 担 当 部 長
			①国の「ふるさと住民登録制度」の令和8年度中の開始について、市はどのように認識し、どのような準備を進めているか。	
			②二地域居住促進法に基づく「特定居住促進計画」の策定について、市の検討状況と今後の予定を問う。	
			③本市の総合戦略および定住促進において、「関係人口」は指標(KPI)として位置づけられているか。位置づけられていないとすれば、次期改定で位置づける考えはあるか。	
			その受け皿となる「官民連携」の体制をどうつくるのか。	
			①本市HPの『支援法人の活用に関する本市の方針が定められるまでの間、市長はこれを行わないこととする』この「本市の方針」は、いつ、どの計画のなかで定めるのか。策定時期の目途を問う。	
			②同じ京都府内では、京丹後市が既に「特定居住支援法人の指定等に関する事務取扱要綱」を整備し、民間からの申請を受け付けている。本市が指定を留保し続けていることで、官民連携の入口そのものを閉じてしまっていないか。	
			③現在「空き家掘り起こし事業」等を担っている地域団体や、市内で古民家再生・空き家管理に取り組む事業者を、支援法人・特定居住支援法人として指定し、市の業務を補完させる考えはあるか。	
			以上を踏まえ、	
			①次期「南丹市空家等対策計画」の策定はどうなっているのか。策定期間と、改正法への対応方針を問う。	
			②次期計画において、空き家の出口として「関係人口」「二地域居住」を明確に位置づける考えはあるか。	
			③社会増減が均衡に近づいてもなお人口減少が続くという現状に照らせば、移住・定住の指標(世帯数・人数)に加え、「関係人口」の指標を持つ必要があると考えるが、見解を問う。	

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 7 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
チェンジ南丹 縁田 有紀 (一問一答) 質問予定日 9月2日 午後4時～	教育	AI時代に求められる情報モラル教育	①本市では、他者尊重や責任ある発信等について、どのような情報モラル教育を実施され、また何を重視しているか伺う。	市 長 教 育 長
			②本市では、AI 時代において、子どもたちにどのような善悪や価値秩序を身につけさせるべきと考えているのか。	
			③本市では、子どもたちが AI を活用しつつも、最終的には自ら考え、判断し、責任を負う主体となるために、どのような教育が重要と考えているのか。	
		AI時代に求められる道徳教育	①本市の道徳教育は、AI 時代において、子どもたちが「何が善か」「なぜ他者を尊重すべきか」といった価値秩序そのものを主体的に考える力を育む内容となっているのか。	
			②本市では、「生命への畏敬の念」や「崇高なものとの関わり」といった感受性が、道徳教育や人間形成においてどのような意味を持つと考えているのか。	
			③本市では、「宗教的情操教育」を公教育においてどこまでが可能で、どこまでは不可能と整理しているのか。また、特定宗教への誘導とならない範囲を、どのように考えているのか。	
			④本市では、地域行事、自然体験、伝統文化、世代間交流を、「命」「感謝」「共同体」「人間としての在り方」を考える教育資源として、どのように活用していく考えか。	
		医療的ケアが必要な児童の保育施設受け入れ	①本市の保育施設への医療的ケアが必要な児童の受け入れについて、進めてきた体制についてと現状を伺う。	教 育 長 担 当 部 長
			②現在の本市の医療的ケアが必要な児童に対する支援についての相談件数、近年の状況はどうか。	
			③看護師人材不足に対応する為、今後どのように対応するのか。本市の見解を伺う。	
	公園整備	公園の今後の整備と管理について	①本市として、今後新しく公園を作ることは考えにあるか。また、市が管理している公園を再整備といった考えはあるか。	市 長 担 当 部 長
			②公園の設備自体の改善、またそれぞれの公園の遊具を充実させるなどは、市として対応されるか。またはどのように対応するか。	
			③市の管理である公園の中で、使用されなくなった公園などはあるか。また、民間の管理である公園に対し、安全性の担保する観点から、古くなった遊具の撤去等に、市からの呼びかけはあるか。	
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午前10時～	農業	農業について	本市の農業を客観的に見ると中山間地・山間地が多い地域特性があり、比較的、大規模集約化に向かない土地柄でもあると考える。ただ、消費圏から1～2時間圏内と立地的には良い条件ではないかとも考えられる。それを踏まえて以下2点について考えを伺う。	市 長
			①小規模農家数もかなり多いことから、認定農家以外への支援も市の独自政策として構築すべきと考えるが、市長の考えは。	
			②消費圏も近いことから、本市独自ブランド制度を策定し業態を活性化すべきと考えるが、市長の考えは。	
		有機資材活用について	令和3年にみどりの食料システム戦略が制定され、全国的に有機資材の活用が見直されてきている。さらに近年の肥料価格の上昇もあり、化学肥料の代替えといった考えもできるように思う。その状況の中で、市として有機資材を活用し環境負荷低減を目指した農業についてどのような考えをお持ちなのか、市長の考えを伺う。	
	交通	地域交通について	面積の広い本市では公共交通は重要な移動手段であるとする。特に、高齢化が進む周辺地域では非常に重要になってくる。ただ、料金や便数、ルートなど含め課題も多いように思う。今後の地域の生活を支える交通インフラの在り方について市長の考えを伺う。	

令和8年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 8 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午前11時～	米価暴落の 緊急対策	政府備蓄米の買い戻しを求める緊急のとりくみ	26年産米のJA買取価格(概算金等)が暴落している。このままでは、稲作農家衰退、JA/業界衰退、国産主食米枯渇という危険なサイクルに陥る。昨年放出した政府備蓄米59万トンの買い戻し等、緊急のとりくみを市長会等でおこなうよう求める。	市 長
		肥料・資材高のもと農家支援を府に求めたい	政府の令和8年度物価高騰対応重点支援交付金を活用した農家支援が全国の県で広がっている。10億9千万円配分された交付金を活用した施策を府に要望していくよう求めたい。	
		市独自の対応策を検討する必要がある	(公社)米穀機構は4月、米のコスト指標を60kg＝2万535円と発表した。これを最低限保証することは政治の責任である。政府備蓄米の買い戻し、府による肥料・資材費の支援に加えて、市としても支援策を採る必要がある。いかがか。	
	公職選挙の 執行結果	市長・市議同時選挙執行の理由は何だったのか	3月に市長・市議同時選挙が執行された。議会全員協議会の多数意見の提出があったが、選挙執行は選挙管理委員会の専権事項である。同時選挙を実施した理由を聞く。	選挙管理 委員会 委員長
		同時選挙によって発生した課題をどう見る	同時選挙によって、当選に至らなかった前市長が45日間市政執行にあたる事態となった。こうした事態惹起は予見されていたことである。選挙管理委員会の見解を聞く。	
		市長・市議選挙投票率低下についての見解	同時選挙実施にあたっては、投票率向上が推進論理として喧伝されたが結果は微減になった。選挙管理委員会の見解を聞く。	
		選挙経費の支出結果をどう見ているか	選挙経費の支出結果をどう見ているか。	
		投票所削減をどう評価しているのか	市長・市議選挙は、前回の68力所から33力所に投票所が削減された。公営掲示板設置も大幅に削減された。4年間の、府議選、衆参国政選挙、今市長・市議選挙結果を通じて、投票所再編(削減)をどう評価しているのか見解を聞く。	
チェンジ南丹 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後1時～	市政運営	「ONEなんたん」の理念について	旧4町それぞれの個性や強みを生かしながら、その力を一つの南丹市の力につなげていく「ONEなんたん」について、市長はどのような理念として捉え、どのような南丹市の姿を目指すのか伺う。	市 長
	市民協働	「Oneなんたんらぼ」の活用について	「Oneなんたんらぼ」で交わされた意見や対話を市民全体で共有し、旧4町の相互理解を深めるため、どのように活用していく考えか伺う。	
	地域経済	「出口の公平性」について	旧4町それぞれの強みをどのように見極め、どの分野に重点投資し、そこで生まれた成果を南丹市全体へどのように還元していくのか。すべてに同じように配分するのではなく、入口では重点投資し、その成果を市全体で享受する「出口の公平性」の観点から、市長の考えを伺う。	
		地域経済の資金流出分析について	地域経済における「漏れバケツ理論」の考え方を踏まえ、本市からの資金流出の実態を可視化・共有し、市民や事業者とともに「漏れバケツの穴を塞ぐ」具体的な取組につなげるため、どのような施策が必要と考えるか伺う。	
		地域経済循環の推進について	本市に入った資金を市内でより多く、より長く循環させるため、どのような施策が有効であると考えるか伺う。	
		「ONEなんたん経済政策」について	経済で4町をつなぐ「ONEなんたん経済政策」を実現するため、それぞれの地域の強みをどのように生かし、その経済効果を南丹市全体へ波及させていくのか、市長の見解を伺う。	
前田 義明 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後2時～	公共工事	公共インフラについて	①持続可能な公共インフラと、それを支える地域建設業に対する考えを伺う。	市 長
			②本市の建設工事に対する必要な施策をどのように考えているのか。	
	森林整備	森林環境譲与税について	①譲与税の執行状況はどうか伺う。	市 長
			②南丹市森林・林業・木材産業振興ビジョンの実現に向けての現状や事業スケジュールはどうか。	担当部長